

「特集 建設分野の魅力」第14回

【兵庫県の主要道路ネットワーク図】



射場 氏 自然環境壊さぬ構造に



射場 長谷大橋の工事では、橋の下にある湿地に希少植物のミツガシワが生息していることが分かった。そこで、湿地に影響を与えないよう橋脚を設げず、下部のトラスで上部の橋を支える橋梁構造とした。



射場 地図が一変する仕事を携わることがうれしい。最後まできれいに仕上げて、浜坂道路ができることで走りたいよいよ開通目前。どのようないい思いでいるか。

岡田 全線開通に向けて、浜坂道路の実現させることができることが次の目標だ。引き続き事業を進め、地元経済の発展、人口減少の歴史的課題を解決するため貢献できればと考えている。

つながる 地域の交流

行政

—2008年度の事業化以降、約10年がかりで完成した。どのような苦労があったか。

射場 この10年間、多くの県の担当者が整備に関わってきました。

